

実は、甘くみていたのです。ところが、いざ、講習会が始まってみると、受講者側はどんな些細なことでも吸収しようとの意欲であふれ、また、講師の先生方も丁寧でわかりやすく、やさしい、けれど、手綱は緩めないスタンスで朝から夕方までピッシリとご講義くださったのです。内容も多岐に渡り、とても勉強になりました。

とても貴重な、充実した4日間を今後の業務に生かせるよう努力します。当院のカラーを生かした医師事務作業補助者を目指し、医師に、『この病院に来て良かった』といわれるように頑張ります。

ありがとうございました。

## 開催報告

### 支部学術集会

#### 第11回青森支部学術集会

学術集会会長：青森慈恵会病院院長 丹野雅彦



会場風景

2012年9月8日(土)、ホテルクラウンパレス青森を会場に、第11回青森支部学術集会を開催致しました。特別講演では愛知県厚生農業協同組合連合会安城厚生病院医療安全部長神

経内科代表部長の安藤哲朗先生から「医療事故予防・紛争予防の視点からみたNarrative-based medicine」と題しご講演頂きました。また、教育講演では、「医療と患者・家族の架け橋」と題して、患者と医療をつなぐNPO法人架け橋理事の大西淳子先生からご講演を頂き、それぞれご専門の立場から本会にふさわしい内容のもので、大変有意義な会となりました。一般演題のカテゴリーを「クリティカルパス・医療の質・医療安全・病院運営」とし、県内から240名の多数の参加者があり、26題の発表について、活発な討議や意見交換が行われました。今回の大会運営にあたり、ご指導ご支援を賜りました皆様に深く感謝申し上げます。

#### 第10回京滋支部学術集会

学術集会会長：済生会滋賀県病院院長 杉本 徹



会場風景

日本医療マネジメント学会第10回京滋支部学術集会を、2013年2月16日(土)にピアザ淡海(滋賀県立県民交流センター)において開催しました。学会

のテーマには、近江商人の心得である「三方よし」に因んで『三方よしの医療マネジメントを目指して』を掲げました。

特別講演は、聖路加国際病院院長の福井次矢先生に、「医療の質を測り改善する：一病院の経験とわが国および世界の動向」を講演いただきました。海外で採り入れられつつあるQIの値に診療報酬を連動させ医療の質を高める仕組みを解説、今後のわが国が進むべき方向性をお話いただきました。

教育講演は、東京医療保健大学講師の瀬戸僚馬先生に、「多職種協働の現状と将来像：医師事務作業補助も含めて」、ランチョンセミナー(A)は、千葉県立東金病院院長の平井愛山先生に、「地域医療連携を基盤に地域ぐるみで取り組む糖尿病の重症化防止の最近の取組みとその成果：糖尿病透析予防指導を中心に」、ランチョンセミナー(B)は、医学研究所北野病院 医療連携コーディネーター 重田由美先生に、「地域連携クリティカルパスとチーム医療」を各々講演いただきました。またシンポジウムは、8名のシンポジストに「多職種協働によるチーム医療の実際」を発表・討議いただきました。

さらに一般演題は、①看護業務(13題)、②医療安全(32題)、③医療情報(14題)、④医療の質(45題)、⑤患者サービス(7題)、⑥病院運営・健診業務(13題)、⑦地域連携(12題)⑧教育(7題)の分野別に計143題を発表・討議いただきました。

当日は学会参加者として493名、学会担当の済生会滋賀県病院からスタッフとして74名の計567名に参加いただきました。学会担当の機会を与えていただいた関係者の方々にも御礼申し上げます。

なお次回の日本医療マネジメント学会第11回京滋支部学術集会は、京都第二赤十字病院院長の日下部 虎夫先生が担当され、2014年2月15日(土)に京都テルサで開催予定ですので、よろしくお願いいたします。

#### 第15回熊本支部学術集会

学術集会会長：医療法人金澤会青磁野リハビリテーション病院理事長 金澤知徳



会場風景

2013年3月9日(土)、くまもと森都心プラザにおいて第15回熊本支部学術集会を開催致しました。「患者と共に考える地域医療の推進」をメインテーマとして、特別講演、シン

ポジウム、一般演題64題、クリティカルパス展示24題で、373名の方々にご参加いただきました。

特別講演では熊本大学准教授 医学部附属病院医療の質管理センター副センター長の菊池 健先生に「患者さんの